

標茶町「森と川の月間」実施結果

釧路川・別寒辺牛川・西別川の三大河川や釧路湿原国立公園・阿寒摩周国立公園など、豊かな自然を有する標茶町では、毎年5月を「森と川の月間」として、10年以上にわたり取り組みを行ってきました。今年は町内外から、のべ1,264の方が参加し、植樹活動・清掃活動が行われました。7,057本の植樹と、920kgのごみを回収しました。

第19回町内クリーン作戦

町道ルルラン通り | 5月11日

本町主催の第19回町内クリーン作戦が町道ルルラン通りの踏切から国道391号線までの約3.8キロの区間で行われました。町民ら130人が参加し、清掃活動を行いました。可燃ごみ280kg、不燃ごみ140kgを回収しました。



西別川清掃

西別川流域 | 5月12日

摩周水環境保全実行委員会（舘定宣委員長）主催の西別川清掃が虹別の西別川流域で行われました。町民ら15人が参加し、清掃活動に汗を流しました。可燃ごみ40kg、不燃ごみ10kgを回収しました。



釧路湿原クリーンデー

塘路湖周辺 | 5月18日

釧路湿原を美しくする会標茶支部（佐藤吉彦支部長）主催の釧路湿原クリーンデーが、塘路湖畔やコッタ口湿原周辺などで行われました。町民ら134人が参加し、清掃活動を行いました。可燃ごみ240kg、不燃ごみ210kgを回収しました。



第18回摩周・水・環境フォーラム

中標津町交流センター | 6月2日

摩周水環境保全実行委員会（舘定宣委員長）主催の第18回摩周・水・環境フォーラムが開催され、76人が参加しました。「環境保全から生まれる産業の未来」をテーマに、環境保全と地域社会の発展との調和を目指す「ユネスコエコパーク」紹介や、シマフクロウの生態環境の講演、虹別コロカムイの会が取り組んでいるバイカモ保全の現状報告が行われました。



第18回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹

虹別萩野地区 | 5月22日



本町主催の第18回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹が虹別萩野地区の保安林で開催され、ハルニレの苗木300本を植樹しました。この取り組みは、釧路開発建設部で始めた保安林の枯れ木の再生を本町が引き継いで行っている事業で、この日は町民ら44人が参加し、保安林再生の願いを込め苗木を植えました。

第26回シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭

別海町本別海地区 | 5月19日



虹別コロカムイの会（館定宣会長）主催の第26回シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭が別海町本別海地区で開催され、本町の町民や道内外の会員など約200人が参加しました。この取り組みは、シマフクロウが生息しやすい環境をつくるための活動で、この日は、ミズナラなどの苗木3,000本を植えました。

厚岸町民の森植樹祭

厚岸町糸魚沢地区 | 6月2日



厚岸町民の森造成実行委員会（中村一明会長）、別寒辺牛川・ホマカイ川流域環境保全協議会（若狭靖会長）主催の厚岸町民の森植樹祭が厚岸町糸魚沢地区で開催されました。別寒辺牛川・ホマカイ川流域環境保全協議会の活動の一環として、上流に位置する本町の町民も毎年参加しています。この日は535人が参加し、ミズナラやヤチダモなどの苗木2,557本を植樹しました。

第25回豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動

コッタロ地区 | 5月25日



豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動実行委員会（近藤龍洋会長）主催の植樹活動がコッタロ町有林で開催されました。町民や釧路市漁協など約130人がミズナラやヤチダモなどの苗木1,200本を植樹しました。植樹後は塘路公民館前駐車場で交流会が行われ、釧路市漁協釧路市東部漁協女性部の協力による「トキ鍋」などが振る舞われました。